

令和8年度 第2学期始業式（令和8年8月27日）

皆さん、おはようございます。

この夏休み、皆さんは実に素晴らしい活躍を見せてくれました。部活動での健闘をはじめ、「第3回ビーチクリーンイベント」や「まつやま盆フェス 2026」といった地域行事への積極的な参加、そして中学生対象の高校見学説明会など、あらゆる場面で多くの成果を上げてくれました。皆さんのエネルギーが学校を元気づけ、地域を明るく活性化してくれていることに、心から感謝します。

さて、いよいよ第2学期が始まります。2学期には、運動会や明教祭をはじめとする大きな学校行事が目白押しです。「勉強の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」と言われるように、じっくりと勉強や部活動、学校行事に打ち込むには最高の季節です。本校が掲げる「三立」を目指し、東高の強い絆のもとで互いに学び合い、高め合いながら、一人ひとりがさらに大きく成長してくれることを楽しみにしています。また、10月には「学校訪問研修」が予定されており、県内から多くの先生方が東高を訪れ、皆さんの授業や学校生活の様子をご覧になります。外部から多くのお客様をお迎えするにあたり、私が皆さんにお願いしたいのは、「当たり前のことを、当たり前にする」ということです。

今日は、「凡事徹底」について話をします。パナソニックの創業者である松下幸之助氏は、この「凡事徹底」——つまり「当たり前のことを、徹底的に行うこと」をととても大切にされていました。松下氏は、取引先の企業経営がうまくいっているかどうかを瞬時に見抜いたと言われています。その判断基準は、驚くほどシンプルでした。

一つ目は「従業員の挨拶」、二つ目は「整理整頓」、三つ目は「トイレの清掃」。どれも特別なことではなく、できて当たり前のことです。しかし、それを誰もが当たり前に実践できる職場の雰囲気や日々の姿勢こそが、その組織の価値を決めるのだと思います。

このことは、私たちの学校にも全く同じことが言えます。本校は2年後、創立150周年という歴史的な節目を迎えます。先輩方が築き上げてこられた素晴らしい伝統を受け継ぎ、私たちはさらに大きく躍進していかなければなりません。

「爽やかな挨拶が飛び交う学校」、「教室や更衣室などの活動場所が、常に綺麗に整理整頓されている学校」、「みんなが気持ちよく綺麗にトイレを使っている学校」、こうした当たり前の土台がしっかりしている学校こそが、真の意味で大きく飛躍していくのだと確信しています。

日常のなかでは、つい小さなことを見過ごしたり、おろそかにしたりしがちです。だからこそ、今一度、みんなで「凡事徹底」を心掛けていきましょう。

最後に、この第2学期が皆さんにとって実り多き時間となることを心から祈念し、第2学期始業式の式辞といたします。